

CASBEE-建築(新築)2014年版
九州大学(伊都)総合研究棟(農学系)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.4
Q1 室内環境			0.40		-			3.2
1 音環境		3.2	0.15		-			3.2
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.5	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.30		-			
2 界壁遮音性能		4.0	0.30		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		4.0	0.20		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20		-			
1.3 吸音		3.0	0.20		-			
2 温熱環境		2.6	0.35		-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50		-			
1 室温		3.0	0.60		-			
2 外皮性能		3.0	0.40		-			
3 ゾーン別制御性					-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-			
2.3 空調方式		3.0	0.30		-			
3 光・視環境		2.9	0.25		-			2.9
3.1 屋光利用		3.4	0.30		-			
1 屋光率	一般的な研究室で2.3%の屋光率を確保	3.0	0.60		-			
2 方位別開口					-			
3 屋光利用設備		4.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-			
1 屋光制御		3.0	1.00		-			
3.3 照度	研究室および講義室とも照度を最大限確保	2.0	0.15		-			
3.4 照明制御		3.0	0.25		-			
4 空気環境		4.4	0.25		-			4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	使用される家具什器に至るまでF☆☆☆☆を確保	5.0	1.00		-			
2 アスベスト対策					-			
4.2 換気		3.3	0.30		-			
1 換気量		4.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-			
4.3 運用管理		4.5	0.20		-			
1 CO ₂ の監視	管理マニュアルを設置	4.0	0.50		-			
2 喫煙の制御	屋外に喫煙所を設置	5.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			0.30		-			3.8
1 機能性		3.8	0.40		-			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40		-			
1 広さ・収納性					-			
2 高度情報通信設備対応					-			
3 バリアフリー計画	基礎的基準をクリア	4.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30		-			
1 広さ感・景観		3.0	0.50		-			
2 リフレッシュスペース					-			
3 内装計画	内装計画に対するコンセプトに基づき、照明計画と合わせて計画	5.0	0.50		-			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	内外装計画とも維持管理計画を考慮に入れた設計を行っている。	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保	清掃管理計画を立て、計画に沿った設計を行っている。	3.0	0.50		-			
3 衛生管理業務					-			
2 耐用性・信頼性		3.6	0.30		-			3.6
2.1 耐震・免震		3.8	0.50		-			
1 耐震性	1.25倍にて設計	4.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数	コンクリートには増し打ちを、鉄骨はSN材を用いるなど耐久性に配慮	4.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	PC打ち込みタイルなどメンテナンスフリーの部分が多く作っている	3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			4.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備	換気設備の系統区分、空調設備のバックアップを可能にしている	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用、配管系統区分を行っている	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	災害対策用の非常電源の確保	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	基準階4.0mを確保している	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.129	3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		キャンパス全体のデザイン方針を地域特性から計画している	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		トップライト、クールヒートチューブを設置	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -	4.1	0.50	-	-	4.1
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	4.1	1.00	-	-	
		集合住宅の評価(3c)	-	-	-	-	
4 効率的運用			4.0	0.20	-	-	4.0
		集合住宅以外の評価	4.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	BEMSの採用	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	集中検針設備による見える化	4.0	0.50	-	-	
		集合住宅の評価	-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.1	0.20	-	-	3.1
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		基礎コンクリート:高炉セメント	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		エコマークを取得した建築製品	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.8	0.20	-	-	2.8
3.1 有害物質を含まない材料の使用		接着剤には有害物質は含まないものを使用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.3	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	保水透水性舗装等により雨水の流出を抑えている	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	日影規制以上の条件で建物ボリュームを形成	4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	